

にこる通信



令和元年 10月 10日発行

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「よつば・にこる」をご利用下さり、まことにありがとうございます。



前期が終わり、いよいよ後期に突入といった学校が多くあります。前期の終わりということで、面談等がありましたね。お子様の、前期の様子や今後の方針についてのお話があったと思いますので、また、よつば・にこるまでお知らせ頂けたら幸いです。



秋らしい空気になってきて朝晩は冷え込む日もありますが、まだまだ日中は暑い日もあります。気温や気圧の変化が大きく、体調を崩しやすくなっており、風邪も流行する季節となってきました。インフルエンザの感染も確認されたようです。咳が出る時にはマスクを着用するなど、感染拡大を防ぐためにご協力をお願いいたします。にこるでも、換気など衛生対策に力を入れて取り組んでいます。



にこるに着替えを置かれている方で、まだ衣がえのお済みでない場合には、お預かりしている着替えを一旦返却いたしますので、中身の入れ替えをお願い致します。

にこる室内の温度は低く設定しております。寒いと感じるお子さまもいらっしゃいますので、にこる御利用時に、上から羽織れるような上着をお持ち頂けると助かります。

9月の活動プログラム プレイバック

9/7(土)「パスタのお店～にこゼリヤ～開店♪♪」

今回は、各役割の業務内容だけではなく、目標やポイントを決めました。

- ・「お客さん」・・・自分のペースで進むのではなく、店員さんのペースで進む
- ・「受付」・・・お客さんを急がせない、焦らせない
- ・「レジ」・・・暗算ができて、必ず電卓を使う
- ・「れんらく」・・・声を出す
- ・「うけわたし」・・・料理が並んでいるので、ふざけない
といった具合です。



「ペース」「急がせない・焦らせない」「ふざけない」など、全体的にあえて抽象的な言葉を使っています。さて、お子さまたちはどう対応するのか？

いつもは話を聞かずに、どんどんどんどん進めていってしまうお子さまが、お客さん役の時に店員さんの言葉にしっかりと従っていたり、普段の生活の中でお友達を急かしてしまう受付役のお子さまが、職員が教えていないにも関わらず、お客さんに「ゆっくり決めてくださいね」という言葉をかけていたり、実に素晴らしい仕事ぶりでした。

一般的に、適応力が低いと言われがちなお子さまたちですが、本当にそうなのでしょうか？できないことや苦手なことを「特性だから」のひとことで済ませずに、私たちがお子さまの根っここの部分を捉える努力をし続けることは、大事なことだな、と改めて考えさせられました。

ミートソースもナポリタンも、とても美味しく、みんな完食しました！「え？そんなにモリモリ食べるの！？」と、驚いてしまうほどです。

にこるのみんなで食べるごはんは、本当に楽しくて美味しくて、最高です！

9/14(土)「体験しよう♪ハーバリウム～！」

中野はるみ先生をお招きしてハーバリウムをつくりました！

にこるとしては3回目の中野先生ですね。毎回、にこるに元気を与えてくださいます。

ハーバリウムは、プリザーブドフラワーやドライフラワーを小瓶に入れ

専用のオイルに浸してつくります。

つくること、きれいなもの、そしてお客さん(笑)が大好きなにこるのお子さまたちにはうってつけのプログラムです。

ハーバリウム、とってもきれいですね！



部屋を暗くして、照明を当てると、幻想的でさらに美しいです！



お家の玄関に飾る～というお子さん

おじいちゃんおばあちゃんにあげる～というお子さん

つくった後のことまで考えてくれていて、とてもうれしかったです！

11月の活動プログラム ピックアップ

11/9(土)「クッキング♪ハイキング♪ おにぎりをつくって遠足に行こう!!」

午前中に、自分が食べる分のおにぎりをつくります。そして、つくったおにぎりを持ってハイキングに出かけます。おにぎりを握るときの触った感じや力加減、ハイキング道中の傾斜や凸凹、周囲の音、景色、土や木々の匂い、おにぎりの味といった五感+初期感覚(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚・前庭覚・固有覚)へのほどよい刺激を味わえる、いいプログラムになるのではないのでしょうか。もちろん、にこるなので「楽しさファースト」ですけど(笑)



11/16(土)「ガネーシャ静岡の選手とサッカーをしよう！」

9/15(日)、にこる指導員の鈴木、松村、鳥井で、ガネーシャ静岡さんの練習を見学に行き、アンプティサッカーを体験させていただきました。アンプティサッカーはクラッチと呼ばれる杖を使います。サッカークラブの中学生たちも参加していたのですが、普段サッカーをしている子たちのなかにも、クラッチを使って片足で歩くこと(ケンケン)を苦にしている子がちらほら見受けられました。自分の身体を思い通りに動かすには、ボディイメージがとても大切になるので「この子たちもにこるに来たらもっとサッカーがうまくなるのに」などと思ったり(笑)プログラム当日は、保護者の方も一緒に、とにかくおもしろ楽しく体を動かせればいいなと思います。

※ プログラムの詳細は別紙参照



11/25(月)「呼吸を整えよう♪」

突然ですが、呼吸は大事ですよね!(笑)

生存することに必要なことであるというのはもちろんですが、呼吸は、心や脳、身体にも大きな影響を与えていると言われていますね。また、心や脳、身体の状態を呼吸が現しているとも言われています。ですから、脳科学的にも生理学的にも「心」「脳」「身体」「呼吸」は、お互いに深く関わり合って、うまく連携することが理想的だそうです。「呼吸」は生まれた時から始まります。そして、生まれてからのさまざまな運動を通して「呼吸」も育っていきます。このプログラムでは、「身体」へのアプローチによって「呼吸」を整え、「心」「脳」「身体」「呼吸」の育ちをめざします。



にこるのコラム — にこらむ —

中国に「授人以魚 不如授人以漁」という言葉があります。「人に魚を与えると1日で食べてしまう。しかし人に釣りを教えれば生涯食べていくことができる」という意味だそうです。日本では「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ」という言葉で特に教育界において有名です。

たしかに「方法」を伝えることで、その後に継続して自分の力で魚を獲れるようにしてあげるということは大切なことですね。

それでは、それがみんなに共通するかというのでしょうか？たとえば、今まさに空腹で動けないというような人に対しては有効でしょうか？空腹のため魚を釣ることができませんね。そういう場合には魚を与えた方がいいのではないのでしょうか。それから、川に水がなかったり、海が大荒れだったりして釣りができないかもしれません。そもそも近くに水辺がないこともあります。

もちろんこの言葉が「例え話」として魚をテーマにしていることは承知しています。しかし、世の中の教育や支援を見渡してみると、相手が子どもでも大人でも、育てようとするときに、教える側・伝える側が「方法」ばかりに目を向けているような気がしてなりません。

大切なのは

その人が求めていることは何なのか？

その人にとって何が一番ためになるのか、役に立つのか？

その人や周囲の状況はどうなのか？

というようなことではないでしょうか。

私たちは、型にはまった「方法」だけではなく

相手の「本質」を捉えられる支援者でありたいと思います。

放課後等デイサービス

よっば・にこる

〒422-8042

駿河区石田1丁目19-2
メゾン石田1F

HP <https://kurura.com/>

TEL 054-269-5128

FAX 054-269-5129

ブログも見てほしいら~

